

第2章 高齢者を取り巻く現状と将来推計

第1節 統計データで見る現状と将来

1. 人口の推移と推計

本市の総人口は、令和2年9月末日現在（住民基本台帳）、344,317人となっています。年少人口、生産年齢人口は減少を続けている中、高齢者人口は増加を続け、高齢者人口は93,423人で、高齢化率は27.1%となっています。

本市の高齢化率を全国、埼玉県と比較すると、全国を1.6ポイント下回り、埼玉県を0.9ポイント上回っています。

今後も高齢者人口は増加し、令和5年には95,249人（高齢化率27.8%）、令和7年には95,829人（高齢化率28.1%）になることが予測されます。

前期高齢者（65歳～74歳）と後期高齢者（75歳以上）の内訳を見ると、令和2年には前期高齢者が45,956人、後期高齢者が47,467人と、後期高齢者数が前期高齢者数を上回り、令和5年には後期高齢者数が53,759人で前期高齢者数を12,269人上回ることが予測されます。

【図表－総人口及び年齢階層別人口の実績・推計】

単位：実数（人）、構成比（%）

区 分		所沢市							埼玉県	全国 (万人)
		実績値			推計値				実績値	実績値
		平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 7年	令和 2年	令和 2年
年少人口 (0～14歳)	実数	41,440	40,716	40,127	39,373	38,721	38,130	36,912	900,976	1,503
	構成比	12.0	11.8	11.7	11.5	11.3	11.1	10.8	12.2	11.9
生産年齢人口 (15～64歳)	実数	211,878	211,227	210,767	210,023	209,627	208,977	207,746	4,553,252	7,466
	構成比	61.5	61.3	61.2	61.1	61.1	61.0	61.0	61.6	59.3
高齢者人口 (65歳以上)	実数	91,070	92,388	93,423	94,233	94,724	95,249	95,829	1,935,733	3,619
	構成比	26.4	26.8	27.1	27.4	27.6	27.8	28.1	26.2	28.7
前期高齢者 (65歳～74歳)	実数	47,294	46,198	45,956	45,468	43,347	41,490	38,016	982,787	1,747
	構成比	13.7	13.4	13.3	13.2	12.6	12.1	11.2	13.3	13.9
後期高齢者 (75歳以上)	実数	43,776	46,190	47,467	48,765	51,377	53,759	57,813	952,946	1,872
	構成比	12.7	13.4	13.8	14.2	15.0	15.7	17.0	12.9	14.9
総人口	実数	344,388	344,331	344,317	343,629	343,072	342,356	340,487	7,389,961	12,588

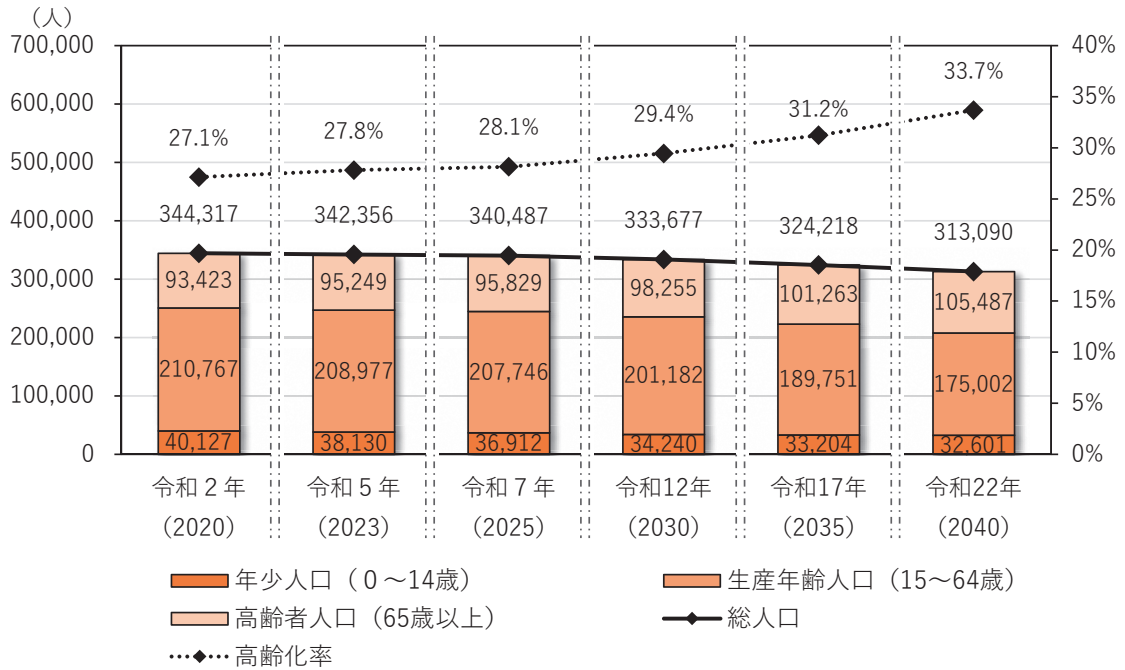
資料：所沢市は住民基本台帳（平成30年～令和2年は各年9月末日現在）、令和3年以降は経営企画課による令和元年12月末日現在の住民基本台帳人口に基づく人口推計（各年12月末日現在）を9月末日現在に補正
 埼玉県は「埼玉県町（丁）字別人口調査 令和2年1月1日現在 結果報告」
 全国は「人口推計」（総務省統計局 令和2年10月1日現在（概算値））

2. 長期的な人口推計

本市の総人口を長期的な人口推計で見ると、令和22（2040）年には313,090人と、令和2（2020）年と比べて約3万人の減少が見込まれています。

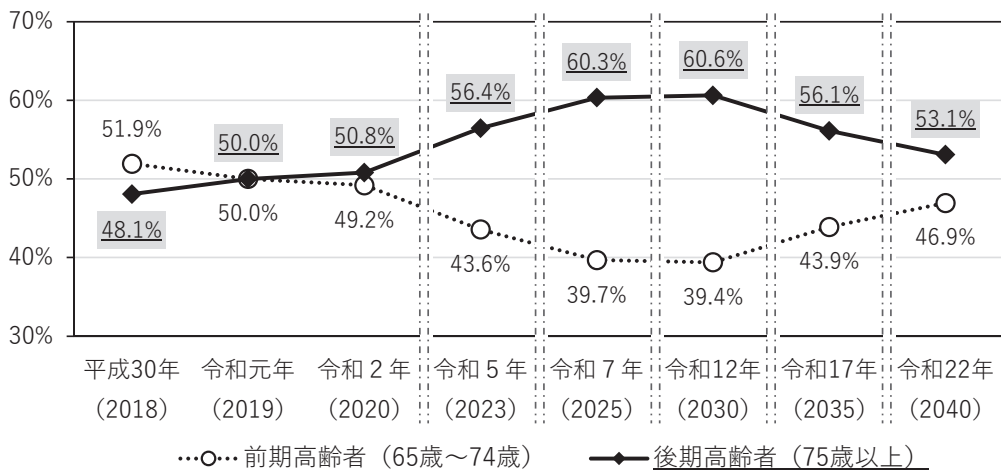
また、令和22（2040）年の高齢者人口は105,487人で、高齢化率は33.7%と、3人に1人が高齢者となり、超高齢社会が更に進行することが見込まれています。

【図表－所沢市の長期的な人口推計】



資料：住民基本台帳（令和2年9月末日現在）、令和5年以降は経営企画課による令和元年12月末日現在の住民基本台帳人口に基づく人口推計（各年12月末日現在）を9月末日現在に補正

【図表－所沢市の長期的な高齢者人口に占める前期高齢者及び後期高齢者の割合】



資料：平成30年から令和2年は住民基本台帳（各年9月末日現在）、令和5年以降は経営企画課による令和元年12月末日現在の住民基本台帳人口に基づく人口推計（各年12月末日現在）を9月末日現在に補正

【図表－所沢市の人口の実績・推計（平成30年度～令和22年度）】

単位：人

年 年齢	実績値			推計値								
	平成 30年度 (2018年度)	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和 6年度 (2024年度)	令和 7年度 (2025年度)	令和 8年度 (2026年度)	令和 9年度 (2027年度)	令和 10年度 (2028年度)	
総数	344,388	344,331	344,317	343,629	343,072	342,356	341,494	340,487	339,370	338,132	336,754	
0～4歳	13,014	12,532	12,012	11,598	11,338	11,246	11,308	11,217	11,147	11,093	11,050	
5～9歳	13,958	13,749	13,750	13,468	13,291	12,909	12,372	11,929	11,616	11,355	11,264	
10～14歳	14,468	14,435	14,365	14,307	14,092	13,975	13,784	13,766	13,544	13,369	12,986	
15～19歳	15,532	15,373	15,095	14,920	14,984	14,819	14,851	14,805	14,704	14,484	14,368	
20～24歳	18,420	18,477	18,489	18,388	18,186	18,004	17,852	17,527	17,457	17,519	17,342	
25～29歳	17,800	17,967	18,001	18,001	18,151	18,451	18,336	18,359	18,251	18,040	17,866	
30～34歳	19,540	19,008	18,687	18,560	18,265	17,817	17,956	18,057	18,026	18,180	18,478	
35～39歳	21,952	21,435	21,039	20,310	19,828	19,451	18,909	18,550	18,545	18,248	17,799	
40～44歳	25,939	24,741	24,081	22,928	22,376	21,796	21,317	20,919	20,314	19,830	19,456	
45～49歳	28,686	28,977	28,607	27,746	26,668	25,505	24,450	23,614	22,777	22,230	21,656	
50～54歳	24,290	25,106	25,662	27,734	28,051	28,727	28,795	28,320	27,626	26,550	25,393	
55～59歳	20,480	21,053	22,221	22,198	23,450	24,286	25,018	25,528	27,434	27,750	28,416	
60～64歳	19,239	19,090	18,885	19,238	19,668	20,121	20,938	22,067	21,750	22,984	23,801	
65～69歳	24,463	22,651	21,117	19,744	18,989	18,639	18,406	18,278	18,591	19,006	19,445	
70～74歳	22,831	23,547	24,839	25,724	24,358	22,851	21,043	19,738	18,755	18,039	17,705	
75～79歳	19,570	20,744	20,460	19,572	20,427	21,049	22,087	23,304	23,643	22,376	20,980	
80～84歳	13,051	13,542	14,266	15,404	16,170	17,247	17,861	17,330	16,810	17,604	18,193	
85～89歳	7,214	7,711	8,264	8,934	9,572	9,859	10,326	10,840	11,612	12,210	13,022	
90～94歳	3,015	3,241	3,434	3,698	3,993	4,292	4,479	4,845	5,167	5,549	5,688	
95～99歳	796	836	896	1,016	1,051	1,139	1,223	1,290	1,373	1,479	1,589	
100歳以上	130	116	147	141	164	173	183	204	228	237	257	
0～14歳	41,440 12.0%	40,716 11.8%	40,127 11.7%	39,373 11.5%	38,721 11.3%	38,130 11.1%	37,464 11.0%	36,912 10.8%	36,307 10.7%	35,817 10.6%	35,300 10.5%	
15～64歳	211,878 61.5%	211,227 61.3%	210,767 61.2%	210,023 61.1%	209,627 61.1%	208,977 61.0%	208,422 61.0%	207,746 61.0%	206,884 61.0%	205,815 60.9%	204,575 60.7%	
65歳以上	91,070 26.4%	92,388 26.8%	93,423 27.1%	94,233 27.4%	94,724 27.6%	95,249 27.8%	95,608 28.0%	95,829 28.1%	96,179 28.3%	96,500 28.5%	96,879 28.8%	
うち 65歳～ 74歳	47,294 13.7%	46,198 13.4%	45,956 13.3%	45,468 13.2%	43,347 12.6%	41,490 12.1%	39,449 11.6%	38,016 11.2%	37,346 11.0%	37,045 11.0%	37,150 11.0%	
うち 75歳 以上	43,776 12.7%	46,190 13.4%	47,467 13.8%	48,765 14.2%	51,377 15.0%	53,759 15.7%	56,159 16.4%	57,813 17.0%	58,833 17.3%	59,455 17.6%	59,729 17.7%	

資料：住民基本台帳（平成30年～令和2年は各年9月末日現在）、令和3年以降は経営企画課による令和元年12月末日現在の住民基本台帳人口に基づく人口推計（各年12月末日現在）を9月末日現在に補正

単位：人

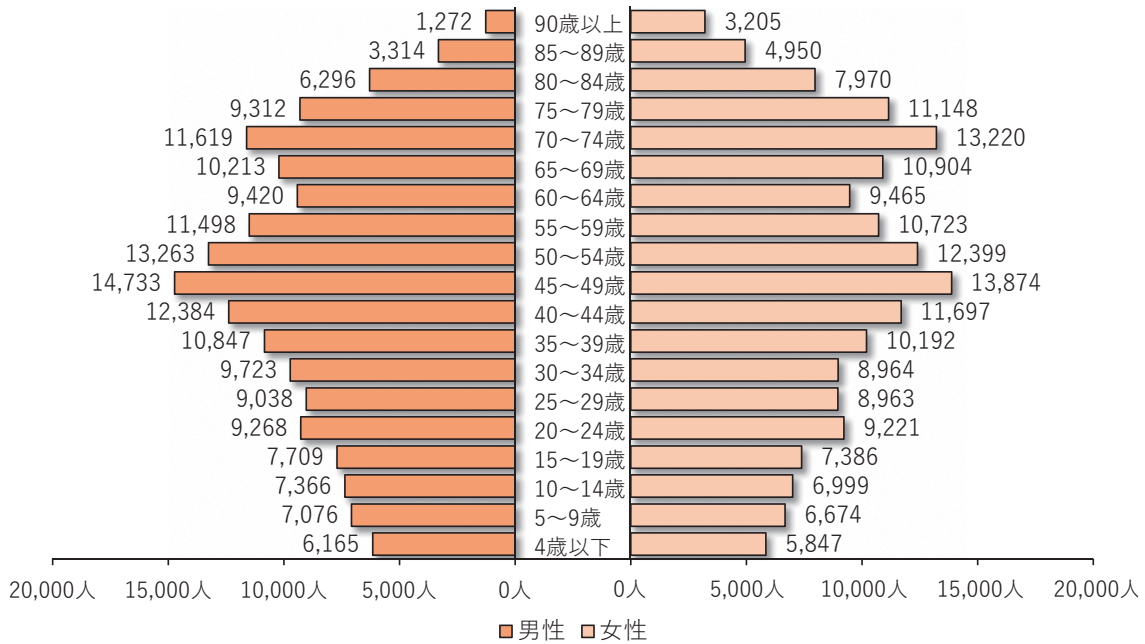
年 年齢	推計値											
	令和 11年度 (2029年度)	令和 12年度 (2030年度)	令和 13年度 (2031年度)	令和 14年度 (2032年度)	令和 15年度 (2033年度)	令和 16年度 (2034年度)	令和 17年度 (2035年度)	令和 18年度 (2036年度)	令和 19年度 (2037年度)	令和 20年度 (2038年度)	令和 21年度 (2039年度)	令和 22年度 (2040年度)
総数	335,267	333,677	331,950	330,142	328,244	326,266	324,218	322,103	319,921	317,686	315,416	313,090
0～4歳	11,026	11,007	10,986	10,962	10,944	10,918	10,884	10,842	10,793	10,744	10,683	10,614
5～9歳	11,322	11,234	11,164	11,109	11,067	11,044	11,024	11,003	10,981	10,959	10,932	10,900
10～14歳	12,446	11,999	11,680	11,418	11,327	11,389	11,296	11,227	11,171	11,129	11,104	11,087
15～19歳	14,168	14,151	13,918	13,739	13,354	12,816	12,352	12,022	11,735	11,627	11,704	11,611
20～24歳	17,382	17,322	17,200	16,950	16,808	16,576	16,546	16,286	16,073	15,627	14,988	14,438
25～29歳	17,714	17,395	17,332	17,400	17,219	17,255	17,190	17,073	16,821	16,681	16,451	16,423
30～34歳	18,368	18,386	18,280	18,070	17,893	17,743	17,423	17,359	17,425	17,244	17,282	17,219
35～39歳	17,938	18,040	18,006	18,159	18,459	18,344	18,366	18,260	18,051	17,875	17,726	17,403
40～44歳	18,911	18,555	18,550	18,253	17,806	17,945	18,046	18,014	18,169	18,468	18,353	18,376
45～49歳	21,177	20,782	20,182	19,701	19,326	18,789	18,433	18,428	18,135	17,691	17,830	17,931
50～54歳	24,343	23,509	22,676	22,133	21,560	21,084	20,692	20,093	19,612	19,239	18,704	18,352
55～59歳	28,483	28,015	27,328	26,263	25,119	24,078	23,254	22,430	21,892	21,328	20,857	20,467
60～64歳	24,523	25,027	26,882	27,195	27,846	27,914	27,449	26,773	25,728	24,610	23,594	22,782
65～69歳	20,236	21,326	21,014	22,209	23,005	23,701	24,189	25,975	26,278	26,909	26,973	26,519
70～74歳	17,488	17,367	17,658	18,054	18,473	19,222	20,260	19,954	21,098	21,852	22,518	22,984
75～79歳	19,324	18,130	17,231	16,567	16,263	16,064	15,955	16,220	16,580	16,968	17,655	18,608
80～84歳	19,112	20,105	20,318	19,207	17,989	16,583	15,569	14,798	14,227	13,971	13,808	13,716
85～89歳	13,449	12,998	12,600	13,275	13,786	14,507	15,178	15,246	14,382	13,452	12,415	11,668
90～94歳	5,935	6,252	6,729	7,094	7,557	7,753	7,413	7,183	7,679	8,050	8,508	8,788
95～99歳	1,648	1,788	1,906	2,053	2,088	2,173	2,299	2,490	2,632	2,796	2,848	2,688
100歳以上	274	289	310	331	355	368	400	427	459	466	483	516
0～14歳	34,794 10.4%	34,240 10.3%	33,830 10.2%	33,489 10.1%	33,338 10.2%	33,351 10.2%	33,204 10.2%	33,072 10.3%	32,945 10.3%	32,832 10.3%	32,719 10.4%	32,601 10.4%
15～64歳	203,007 60.6%	201,182 60.3%	200,354 60.4%	197,863 59.9%	195,390 59.5%	192,544 59.0%	189,751 58.5%	186,738 58.0%	183,641 57.4%	180,390 56.8%	177,489 56.3%	175,002 55.9%
65歳以上	97,466 29.1%	98,255 29.4%	97,766 29.5%	98,790 29.9%	99,516 30.3%	100,371 30.8%	101,263 31.2%	102,293 31.8%	103,335 32.3%	104,464 32.9%	105,208 33.4%	105,487 33.7%
うち 65歳～ 74歳	37,724 11.3%	38,693 11.6%	38,672 11.6%	40,263 12.2%	41,478 12.6%	42,923 13.2%	44,449 13.7%	45,929 14.3%	47,376 14.8%	48,761 15.3%	49,491 15.7%	49,503 15.8%
うち 75歳 以上	59,742 17.8%	59,562 17.9%	59,094 17.8%	58,527 17.7%	58,038 17.7%	57,448 17.6%	56,814 17.5%	56,364 17.5%	55,959 17.5%	55,703 17.5%	55,717 17.7%	55,984 17.9%

3. 人口構成

本市の令和2年9月末日現在の人口構成では、65歳～74歳の前期高齢者の占める割合が高く、その子ども世代である40歳代及び50～54歳の占める割合が高くなっています。

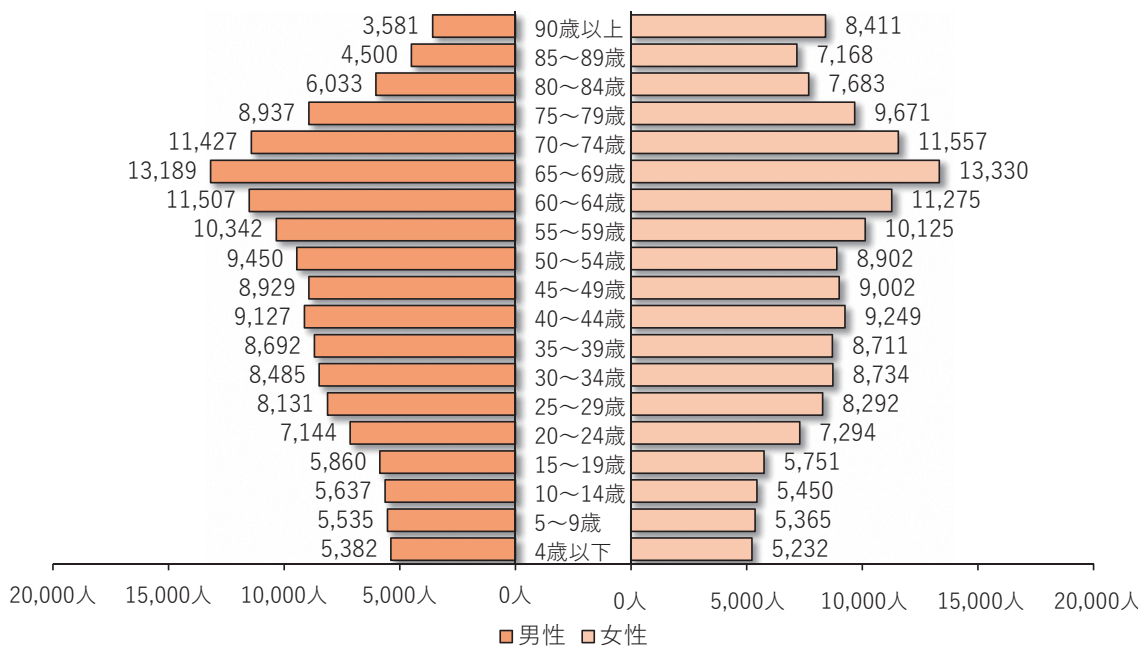
令和22(2040)年を迎えると、更に年少人口及び生産年齢人口が減少することから、高齢者を支える世代の減少が深刻化することが予測されます。

【図表－令和2年9月末日現在の人口構成】



資料：住民基本台帳（令和2年9月末日現在）

【図表－令和22年9月末日現在の人口構成】



資料：経営企画課による令和元年12月末日現在の住民基本台帳人口に基づく人口推計（各年12月末日現在）を9月末日現在に補正

4. 国勢調査から見る高齢者世帯の推移

本市の平成 27 年 10 月 1 日現在（国勢調査）の一般世帯総数は 145,724 世帯で、そのうち、65 歳以上の高齢者がいる世帯は 54,978 世帯で、一般世帯総数の 37.7% を占めています。全国、埼玉県と比較してみると、全国を 3.0 ポイント、埼玉県を 1.4 ポイント下回っています。

高齢者がいる世帯のうち、高齢者夫婦世帯は 15,995 世帯、高齢者独居世帯は 13,179 世帯で、一般世帯総数に占める割合は、それぞれ 11.0%、9.0%となっています。全国、埼玉県と比較してみると、高齢者夫婦世帯では全国、埼玉県を上回っています。

平成 17 年から平成 27 年の 10 年間の推移を見ると、それぞれの構成比は年々上昇しており、高齢者世帯が急速に増加する中、特に高齢者夫婦世帯の増加が大きくなっています。

【図表－国勢調査から見る高齢者世帯の推移】

単位：実数（世帯）、構成比（%）

区 分		所 沢 市			埼 玉 県	全 国
		平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 27 年	平成 27 年
高齢者がいる世帯	実数	37,446	46,453	54,978	1,160,223	21,713,308
	構成比	28.4	32.9	37.7	39.1	40.7
高齢者夫婦世帯	実数	8,756	12,002	15,995	296,188	5,247,936
	構成比	6.6	8.5	11.0	10.0	9.8
高齢者独居世帯	実数	7,580	10,307	13,179	275,777	5,927,686
	構成比	5.7	7.3	9.0	9.3	11.1
一般世帯総数	実数	131,851	141,118	145,724	2,967,928	53,331,797

資料：国勢調査

第2節 介護保険事業の状況と推計

1. 被保険者数

本市の令和2年9月末日現在（介護保険事業状況報告）の第1号被保険者数は93,602人で、そのうち、前期高齢者数が45,958人（49.1%）、後期高齢者数が47,644人（50.9%）となっています。

本市の令和2年9月末日現在（介護保険事業状況報告）の要支援・要介護認定者数は15,732人で、認定率は16.8%となっています。

推計では、令和5年度には要支援・要介護認定者数が18,057人で、認定率は19.0%、令和7年度には、要支援・要介護認定者数が19,226人で、認定率は20.1%と、認定率が20.0%を超えることが予測されます。

【図表－被保険者数の実績・推計】

	所 沢 市								埼玉県	全国
	実績値			推計値					実績値	実績値
	平成 30年度 (2018)	令和 元年度 (2019)	令和 2年度 (2020)	令和 3年度 (2021)	令和 4年度 (2022)	令和 5年度 (2023)	令和 7年度 (2025)	令和 22年度 (2040)	令和 2年度 (2020)	令和 2年度 (2020)
第1号被保険者数	91,211人	92,565人	93,602人	94,233人	94,724人	95,249人	95,829人	105,487人	1,949千人	3,569万人
前期 高齢者数	47,317人 51.9%	46,215人 49.9%	45,958人 49.1%	45,468人 48.3%	43,347人 45.8%	41,490人 43.6%	38,016人 39.7%	49,503人 46.9%	982千人 50.4%	1,733万人 48.6%
後期 高齢者数	43,894人 48.1%	46,350人 50.1%	47,644人 50.9%	48,765人 51.7%	51,377人 54.2%	53,759人 56.4%	57,813人 60.3%	55,984人 53.1%	968千人 49.7%	1,836万人 51.4%
40～64歳人口 (第2号被保険者に 相当)	118,634人	118,967人	119,456人	119,844人	120,213人	120,435人	120,448人	97,908人	2,553千人	4,223万人
要支援・要介護 認定者数	14,681人	15,295人	15,732人	16,536人	17,319人	18,057人	19,226人	22,689人	311,574人	6,759,856人
要支援1	2,345人 16.0%	2,405人 15.7%	2,379人 15.1%	2,525人 15.3%	2,588人 14.9%	2,662人 14.7%	2,808人 14.6%	2,912人 12.8%	36,816人 11.8%	943,960人 14.0%
要支援2	2,008人 13.7%	2,073人 13.6%	2,138人 13.6%	2,212人 13.4%	2,322人 13.4%	2,433人 13.5%	2,568人 13.4%	2,806人 12.4%	38,280人 12.3%	946,587人 14.0%
要介護1	3,385人 23.1%	3,527人 23.1%	3,600人 22.9%	3,752人 22.7%	3,929人 22.7%	4,089人 22.6%	4,354人 22.6%	5,084人 22.4%	71,788人 23.0%	1,374,977人 20.3%
要介護2	2,219人 15.1%	2,341人 15.3%	2,486人 15.8%	2,687人 16.2%	2,844人 16.4%	2,972人 16.5%	3,178人 16.5%	3,739人 16.5%	54,670人 17.5%	1,163,931人 17.2%
要介護3	1,833人 12.5%	1,974人 12.9%	2,058人 13.1%	2,164人 13.1%	2,280人 13.2%	2,388人 13.2%	2,562人 13.3%	3,250人 14.3%	44,123人 14.2%	895,038人 13.2%
要介護4	1,608人 11.0%	1,721人 11.3%	1,841人 11.7%	1,931人 11.7%	2,034人 11.7%	2,127人 11.8%	2,280人 11.9%	3,019人 13.3%	38,809人 12.5%	836,135人 12.4%
要介護5	1,283人 8.7%	1,254人 8.2%	1,230人 7.8%	1,265人 7.6%	1,322人 7.6%	1,386人 7.7%	1,476人 7.7%	1,879人 8.3%	27,088人 8.7%	599,228人 8.9%
認定率	16.1%	16.5%	16.8%	17.5%	18.3%	19.0%	20.1%	21.5%	16.1%	19.0%

資料：第1号被保険者数は介護保険事業状況報告（各年9月末日現在）

要支援・要介護認定者数は介護保険事業状況報告（各年9月末日現在）

40～64歳人口は、所沢市は住民基本台帳（各年9月末日現在）

埼玉県は「埼玉県町（丁）字別人口調査 令和2年1月1日現在 結果報告」

全国は「人口推計」（総務省統計局 令和2年10月1日現在（概算値））

※要支援・要介護認定者数には、第2号被保険者を含む。

2. 調整済み認定率

本市の令和元年度の調整済み認定率は、軽度認定率が11.2%、重度認定率が5.5%となっています。調整済み認定率を県内同規模以上の他市、埼玉県、全国と比較してみると、本市の軽度認定率及び重度認定率は全国と同様の数値であるものの、県内同規模以上の他市と比べると、軽度認定率が高く、重度認定率が低くなっています。

- 軽度：要支援1～要介護2
- 重度：要介護3～要介護5

【調整済み認定率】

認定率に影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率

【図表－調整済み認定率】

	所沢市	川越市	川口市	埼玉県	全国
認定率	16.2%	15.7%	16.1%	15.4%	18.5%
軽度認定率	10.9%	10.0%	10.2%	9.9%	12.1%
重度認定率	5.3%	5.7%	6.0%	5.4%	6.4%
調整済み認定率	16.8%	16.9%	16.8%	16.3%	17.0%
調整済み軽度認定率	11.2%	10.6%	10.5%	10.5%	11.3%
調整済み重度認定率	5.5%	6.3%	6.3%	5.8%	5.8%

出典：地域包括ケア「見える化」システム（令和2年9月28日取得）

B4-a_認定率（要介護度別）（令和2年3月末日現在）

B5-a_調整済み認定率（要介護度別）（令和2年3月末日現在）

B6-a_調整済み重度認定率（令和2年3月末日現在）

B6-b_調整済み軽度認定率（令和2年3月末日現在）

※認定率、調整済み認定率には、第2号被保険者を含まない。

※端数処理のため、合計が合わない場合がある。

3. 介護保険サービス量

介護保険制度では、要支援・要介護認定を受けた方に対する介護サービスの保険給付をはじめ、地域支援事業による介護予防の推進や高齢者支援体制の強化など、高齢者に対する様々な施策を実施しています。

【図表－介護給付サービス量の見込み】

		令和2年度 (2020)	令和5年度 (2023)	令和7年度 (2025)	令和22年度 (2040)
居宅サービス					
訪問介護	回数	502,460	580,916	610,662	667,181
訪問入浴介護	回数	7,800	9,364	10,242	13,163
訪問看護	回数	114,128	138,572	151,801	186,832
訪問リハビリテーション	回数	53,839	73,715	77,452	94,546
居宅療養管理指導	人数	29,064	37,032	38,316	47,508
通所介護	回数	294,564	344,683	365,153	446,599
通所リハビリテーション	回数	134,368	146,549	153,666	185,101
短期入所生活介護	日数	144,707	172,518	182,219	231,006
短期入所療養介護	日数	8,417	11,062	11,467	14,209
特定施設入居者生活介護	人数	9,192	12,912	12,912	15,132
福祉用具貸与	人数	50,196	58,056	60,528	78,072
地域密着型サービス					
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人数	1,164	1,644	1,680	2,004
夜間対応型訪問介護	人数	12	0	0	0
地域密着型通所介護	回数	125,244	164,744	171,868	208,031
認知症対応型通所介護	回数	9,389	12,362	13,098	16,776
小規模多機能型居宅介護	人数	1,236	1,608	1,668	2,028
認知症対応型共同生活介護	人数	3,276	4,068	4,068	4,848
地域密着型特定施設入居者生活介護	人数	324	348	420	540
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人数	600	612	768	984
看護小規模多機能型居宅介護	人数	12	348	348	348
特定福祉用具販売	人数	1,020	1,176	1,272	1,560
住宅改修	人数	696	972	1,380	1,704
居宅介護支援	人数	77,784	91,452	97,812	118,800
介護保険施設サービス					
介護老人福祉施設	人数	14,064	16,248	18,336	23,256
介護老人保健施設	人数	7,764	8,124	8,916	11,244
介護医療院	人数	396	1,164	1,188	1,536
介護療養型医療施設	人数	732	756	0	0

【図表－予防給付サービス量の見込み】

		令和2年度 (2020)	令和5年度 (2023)	令和7年度 (2025)	令和22年度 (2040)
介護予防サービス					
介護予防訪問入浴介護	回数	35	54	54	54
介護予防訪問看護	回数	11,934	14,206	14,966	16,154
介護予防訪問リハビリテーション	回数	8,200	8,845	9,023	9,730
介護予防居宅療養管理指導	人数	2,556	3,348	3,540	3,780
介護予防通所リハビリテーション	人数	7,788	8,724	9,252	8,844
介護予防短期入所生活介護	日数	1,054	883	678	745
介護予防短期入所療養介護	日数	12	12	12	12
介護予防特定施設入居者生活介護	人数	1,284	1,908	1,908	1,896
介護予防福祉用具貸与	人数	15,252	18,468	19,488	20,880
地域密着型サービス					
介護予防認知症対応型通所介護	回数	166	259	259	342
介護予防小規模多機能型居宅介護	人数	132	144	144	168
介護予防認知症対応型共同生活介護	人数	36	72	72	72
特定介護予防福祉用具販売	人数	267	396	396	432
介護予防住宅改修	人数	420	576	504	528
介護予防支援	人数	20,640	23,736	25,092	26,892

【図表－地域支援事業の量の見込み】

事業名		令和2年度 (2020)	令和5年度 (2023)	令和7年度 (2025)	令和22年度 (2040)
介護予防・日常生活支援総合事業					
訪問型サービス	人数	9,888	12,228	12,300	13,548
通所型サービス	人数	17,022	20,472	20,592	22,668

4. 給付費

本市の介護保険事業の規模は、事業開始当初の平成12年度の保険給付費が41億円であったのに対し、令和2年度では約247億円（保険給付費、地域支援事業費の合計）と約6倍に増加しており、その保険財政の一部を賄う第1号被保険者の介護保険料も、基準額の月額で、第1期の2,909円から第7期計画では4,973円へと約1.7倍上昇しています。

今後、後期高齢者の増加幅が大きくなっていくことを受け、介護保険事業に必要な費用の中長期的な推計では、令和7（2025）年度には約289億円、令和22（2040）年度には約350億円に達する見込みです。

この中長期的な推計は、今後の要支援・要介護認定者数やサービス利用の動向による変動はあり得るものの、令和7（2025）年度、令和22（2040）年度における本市の高齢者福祉及び介護をめぐる状況を示す参考資料と捉えることができます。

【図表－介護保険事業の将来推計】

	令和2年度	令和5年度	令和7年度	令和22年度
保険給付費	234.8億円	263.4億円	274.6億円	335.1億円
地域支援事業費	11.9億円	13.7億円	13.8億円	15.1億円
介護保険料基準額見込み（月額）	4,973円	5,358円	6,606円	8,716円

本市の令和元年度の第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設及び居住系サービス）は、在宅サービスが55.9%、施設及び居住系サービスが44.1%となっています。

県内同規模以上の他市、近隣市、埼玉県や全国と比較してみると、在宅サービスの割合が高く、施設及び居住系サービスの割合が低くなっています。

【在宅サービスに該当するサービス】

訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護（介護老人保健施設）、短期入所療養介護（介護療養型医療施設等）、福祉用具貸与、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護

【施設及び居住系サービスに該当するサービス】

介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護

【図表－第1号被保険者1人あたり給付月額の比較】

	令和元年度						
	所沢市	狭山市	入間市	川越市	川口市	埼玉県	全国
在宅サービス	9,822 円	7,378 円	7,690 円	9,323 円	10,189 円	8,935 円	11,548 円
	55.9%	47.6%	45.8%	52.7%	51.2%	49.3%	52.6%
施設及び居住系サービス	7,754 円	8,133 円	9,109 円	8,361 円	9,704 円	9,198 円	10,408 円
	44.1%	52.4%	54.2%	47.3%	48.8%	50.7%	47.4%
合 計	17,576 円	15,511 円	16,799 円	17,684 円	19,893 円	18,133 円	21,956 円

出典：地域包括ケア「見える化」システム（令和2年8月6日取得）

D6.第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設及び居住系サービス）（令和元年度）

第3節 アンケート調査で見る高齢者の実態

1. 調査の概要

(1) 調査の名称

令和元年度高齢者福祉・介護実態調査

令和元年度在宅介護実態調査

(2) 調査の目的

「第8期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定の基礎資料として、市民の健康状態や日常生活の状況及び福祉サービスにおける利用状況等を把握し、今後の施策の改善及び展開、充実を図ることを目的に実施しました。

(3) 調査対象者

【令和元年度高齢者福祉・介護実態調査】

調査区分	対象
①高齢者一般	介護保険の認定を受けていない65歳以上の方
②要支援高齢者	要支援1・2の認定を受けている方
③要介護高齢者	要介護1から要介護5の認定を受けている方
④施設入所高齢者	介護保険の施設サービスを利用している方
⑤ケアマネジャー	市内の居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャーの方

※②及び③は、「主に介護している同居の家族の方」も対象としております。

【令和元年度在宅介護実態調査】

調査区分	対象
①要支援・要介護高齢者	在宅で生活をしている要支援1から要介護5の認定を受けている方

(4) 調査方法と調査時期

【令和元年度高齢者福祉・介護実態調査】

◆調査方法：郵送配布、郵送回収

◆調査時期：令和2年1月15日～令和2年2月17日

【令和元年度在宅介護実態調査】

◆調査方法：認定調査員による聞き取り調査

◆調査時期：令和元年6月上旬～令和元年10月中旬

(5) 回収結果

【令和元年度高齢者福祉・介護実態調査】

調査区分	配布件数 (人)	回収件数 (人)	回収率
①高齢者一般	3,260	2,435	74.7%
②要支援高齢者	240	189	78.8%
③要介護高齢者	600	366	61.0%
④施設入所高齢者	100	71	71.0%
⑤ケアマネジャー	50	47	94.0%
合計	4,250	3,108	73.1%

【令和元年度在宅介護実態調査】

調査区分	配布件数 (人)	回収件数 (人)	回収率
①要支援・要介護高齢者		600	

2. 高齢者福祉・介護実態調査の結果抜粋（共通質問項目）

（1）家族構成

家族構成は、「高齢者一般」及び「要介護高齢者」では『夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）』、「要支援高齢者」では『1人暮らし』の割合が最も高くなっていました。

『1人暮らし』は、「要支援高齢者」が37.0%で最も高く、次いで「高齢者一般」が23.5%、「要介護高齢者」が13.9%となっています。3年前の同様の調査結果と比べると、高齢者一般の『1人暮らし』の割合は上昇傾向にあります。

また、『息子・娘との2世帯』は、介護度があがるにつれて割合は高くなることから、介護・介助が必要な状態になったことにより、家族と同居する方が増えていると考えられます。

調査区分	高齢者一般 (n=2,435)	要支援高齢者 (n=189)	要介護高齢者 (n=366)
1人暮らし	23.5%	37.0%	13.9%
夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）	35.2%	25.9%	27.6%
夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）	5.5%	0.5%	0.8%
息子・娘との2世帯	18.2%	23.3%	27.0%
その他	13.6%	7.4%	18.3%
無回答	3.9%	5.8%	12.3%

（2）参加者として地域活動へ参加する意向

参加者として地域活動（健康づくり活動や趣味等のグループ活動等）へ参加する意向を見ると、「高齢者一般」では約6割、「要支援高齢者」では約5割、「要介護高齢者」では約2割の方が、参加者としての地域活動に対して、前向きな回答をしていました。

調査区分	高齢者一般 (n=2,435)	要支援高齢者 (n=189)	要介護高齢者 (n=366)
是非参加したい	7.4%	7.9%	1.6%
参加してもよい	50.3%	38.6%	21.6%
参加したくない	28.3%	39.7%	52.2%
既に参加している	6.3%	3.2%	2.2%
無回答	7.8%	10.6%	22.4%

(3) 企画・運営、お世話役として地域活動へ参加する意向

企画・運営、お世話役として地域活動（健康づくり活動や趣味等のグループ活動等）へ参加する意向を見ると、「高齢者一般」では約4割、「要支援高齢者」では約2割、「要介護高齢者」では約1割の方が、企画・運営、お世話役としての地域活動に対して、前向きな回答をしていました。

調査区分	高齢者一般 (n=2,435)	要支援高齢者 (n=189)	要介護高齢者 (n=366)
是非参加したい	2.4%	2.6%	0.0%
参加してもよい	35.1%	19.6%	7.4%
参加したくない	51.0%	58.7%	68.0%
既に参加している	4.8%	4.2%	0.5%
無回答	6.7%	14.8%	24.0%

(4) 日常生活で困っていること

日常生活での困りごとの割合は、介護度があがるにつれて増加傾向が見られ、「要介護高齢者」において3割を超えている項目は、『税金の支払いや公共機関の手続き』、『買い物に行くのが困難（行けない）』、『日常の力仕事（家具の移動等）』、『庭の手入れ』、『掃除』、『食事の準備』、『外出の際の移動手段』、『電化製品の扱い方』でした。

調査区分	高齢者一般 (n=2,435)	要支援高齢者 (n=189)	要介護高齢者 (n=366)
税金の支払いや公共機関の手続き	8.2%	23.8%	30.1%
財産やお金の管理	5.1%	14.3%	27.6%
近くに買い物をする場所がない	3.4%	12.2%	18.6%
買い物に行くのが困難（行けない）	1.5%	24.3%	36.1%
日々のゴミ出し	3.4%	22.8%	28.7%
日常の力仕事（家具の移動等）	19.6%	58.7%	37.7%
庭の手入れ	11.8%	34.4%	30.3%
掃除	7.6%	37.6%	34.7%
洗濯	4.9%	19.6%	28.7%
食事の準備	6.2%	18.5%	34.2%
外出の際の移動手段	4.6%	33.3%	36.9%
電化製品の扱い方	10.8%	32.3%	33.1%
ペットの世話	1.1%	3.7%	7.7%
その他	2.5%	6.9%	7.1%
特に困っていることはない	54.0%	13.8%	13.9%
無回答	6.1%	4.2%	18.3%

(5) 介護予防のための通いの場への参加状況

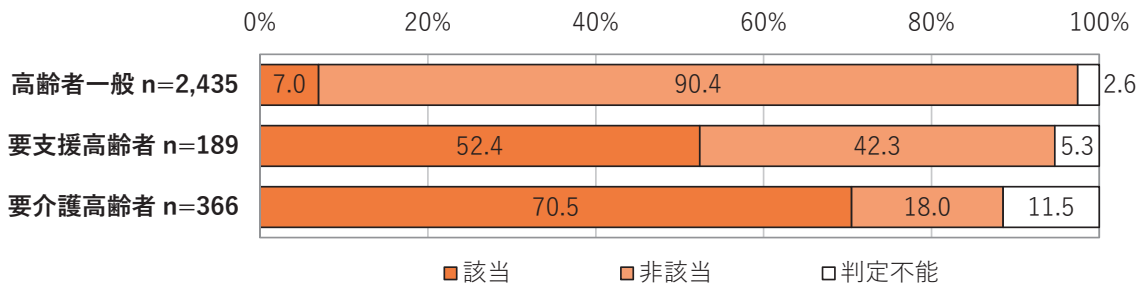
介護予防のための通いの場への参加状況は、「高齢者一般」及び「要介護高齢者」では、参加している方が1割に満たない状況である一方で、「要支援高齢者」では、参加している方が約2割と、中でも『週1回』の参加が多くなっていました。

調査区分	高齢者一般 (n=2,435)	要支援高齢者 (n=189)	要介護高齢者 (n=366)
週4回以上	0.1%	0.5%	0.8%
週2~3回	0.9%	2.1%	1.9%
週1回	1.5%	14.3%	1.1%
月1~3回	1.9%	1.6%	0.8%
年に数回	0.5%	0.0%	0.8%
参加していない	70.7%	49.7%	66.4%
無回答	24.4%	31.7%	28.1%

(6) 運動機能

運動機能を評価するための設問が5項目設けられています。下記表の該当する回答を3項目以上した場合、運動機能の低下が見られる該当者と判定します。

運動機能の低下が見られる『該当者』は、「高齢者一般」が7.0%、「要支援高齢者」が52.4%、「要介護高齢者」が70.5%でした。



質問項目	該当する回答
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	・できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	・できない
15分ぐらい続けて歩いていますか。	・できない
過去1年間に転んだ経験がありますか。	・何度もある ・1度ある
転倒に対する不安は大きいですか。	・とても不安である ・やや不安である

(7) 終末期に過ごしたいと思う場所

終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）に過ごしたいと思う場所は、全ての調査区分で『自宅』の割合が最も高かったです。また、『わからない』の割合が全ての調査区分で約2割だったことから、終末期に過ごしたいと思う場所に迷い等がある方も多いのではないかと考えられます。

調査区分	高齢者一般 (n=2,435)	要支援高齢者 (n=189)	要介護高齢者 (n=366)
自宅	40.5%	36.5%	44.5%
医療機関（病院や診療所）	21.3%	25.4%	10.9%
特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設	9.6%	8.5%	6.6%
有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅	4.6%	6.3%	3.3%
その他	1.1%	0.5%	0.3%
わからない	19.4%	18.5%	18.3%
無回答	3.6%	4.2%	16.1%

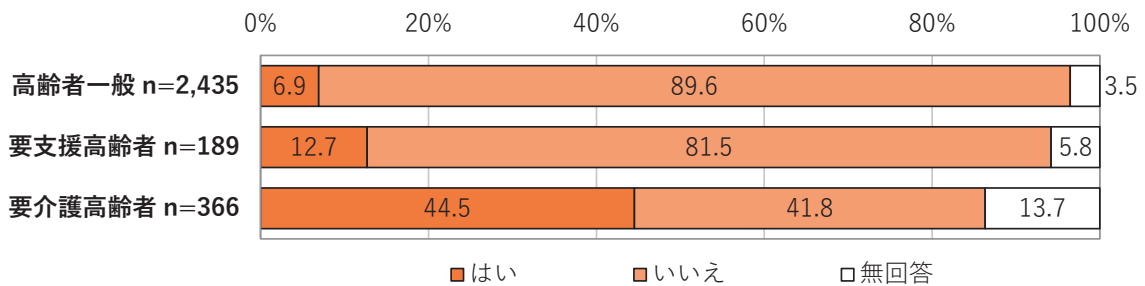
(8) 終末期の在宅での生活で不安に感じること

終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）の在宅での生活で不安に感じることは、「高齢者一般」及び「要介護高齢者」では、『家族の介護等の負担が心配』の割合が最も高くなっていました。また、「要支援高齢者」では、『急変などがあった場合の対応体制が心配』が最も高くなっていました。

調査区分	高齢者一般 (n=2,435)	要支援高齢者 (n=189)	要介護高齢者 (n=366)
自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配	45.7%	39.2%	30.9%
医師の訪問診療や往診を受けられるか心配	32.3%	30.7%	20.2%
急変などがあった場合の対応体制が心配	37.7%	54.0%	30.3%
経済的な負担が心配	43.9%	33.9%	36.6%
家族の介護等の負担が心配	59.1%	46.6%	41.5%
その他	2.0%	3.7%	3.6%
特に不安は感じない	6.7%	10.6%	9.6%
無回答	3.7%	1.6%	18.6%

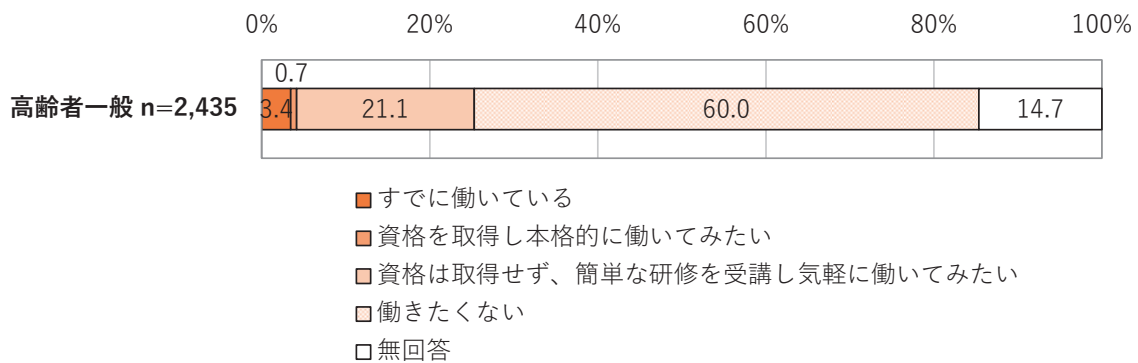
(9) 本人又は家族に認知症の症状がある人はいるか

本人又は家族に認知症の症状がある人はいるかは、「高齢者一般」及び「要支援高齢者」では約1割である一方で、「要介護高齢者」では約4割と、認知症の症状がある人の割合が高くなっていました。



(10) 介護の現場で働くこと

介護の現場で働くことについては、「働きたくない」が60.0%で最も高いものの、「資格は取得せず、簡単な研修を受講し気軽に働いてみたい」は21.1%と、介護の現場で働くことに対して前向きな回答をしている方もいました。

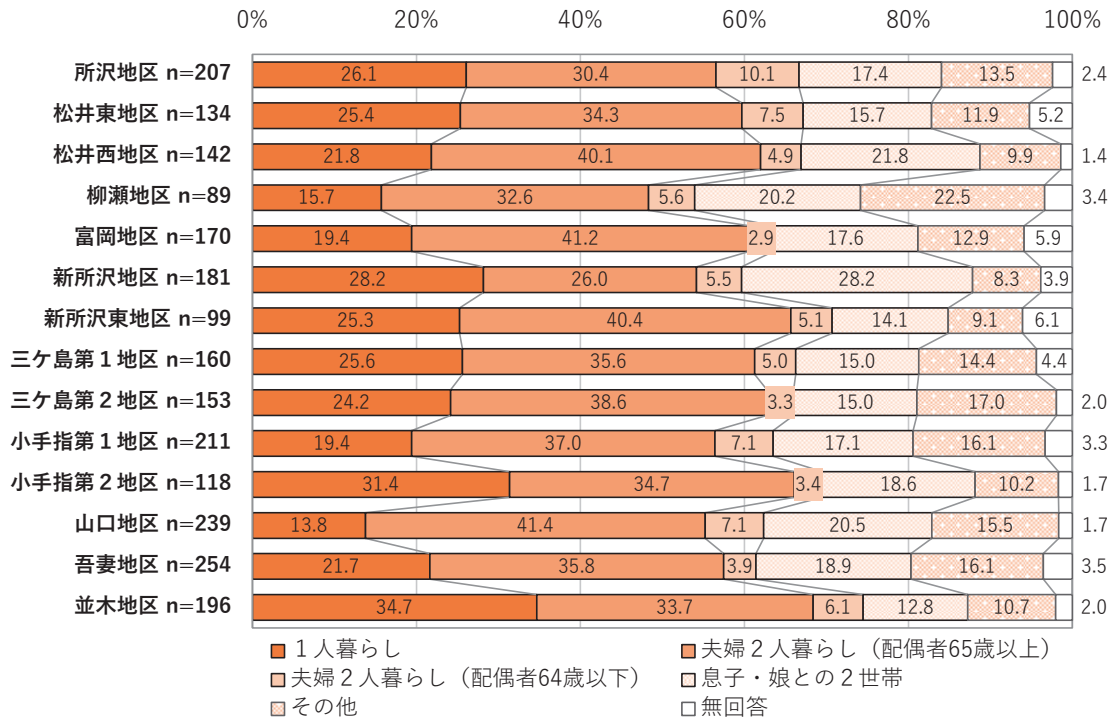


※本設問は、「高齢者一般」のみを調査対象としております。

3. 高齢者福祉・介護実態調査の結果抜粋（高齢者一般・地区別）

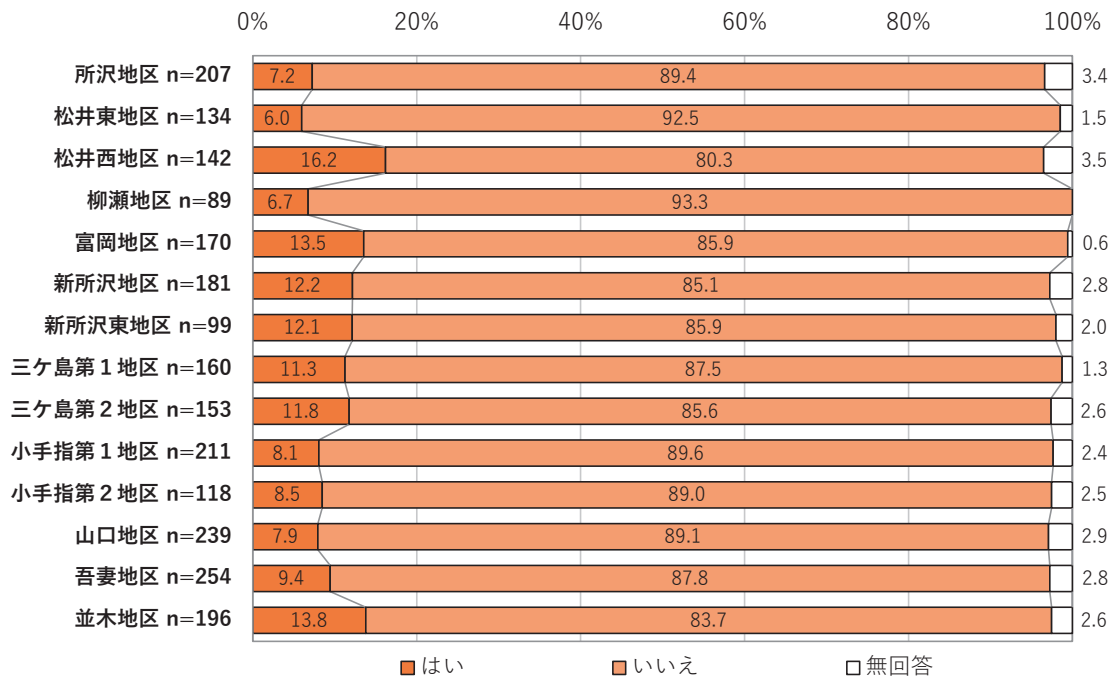
（1）家族構成（地区別）

どの地区においても「1人暮らし」と「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が半数近くを占めていましたが、各地区によってその構成に特徴があることが分かります。



（2）外出状況（地区別）

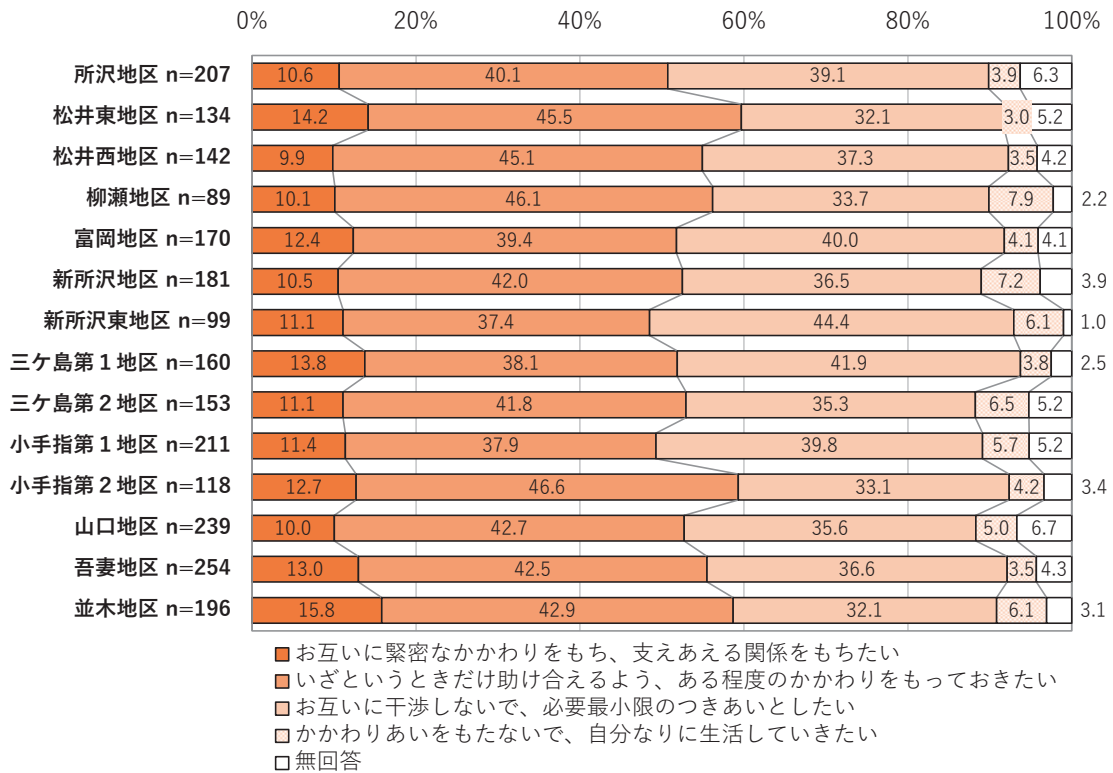
外出を控えている状況について「はい（控えている）」で見ると、「松井西地区」が16.2%で最も高く、次いで「並木地区」が13.8%、「富岡地区」が13.5%でした。この結果から、外出状況の差に地理的な要因が関係していることが考えられます。



(3) 地域との関係 (地区別)

地域との関係をどのように考えているかについては、「お互いに緊密なかかわりを持ち、支えあえる関係をもちたい」と「いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい」を合わせた『関係をもちたい』の合計値と、「お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい」と「かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい」を合わせた『あまり関係をもちたくない』の合計値を見ると、新所沢東地区を除き、『関係をもちたい』の割合が上回る結果でした。

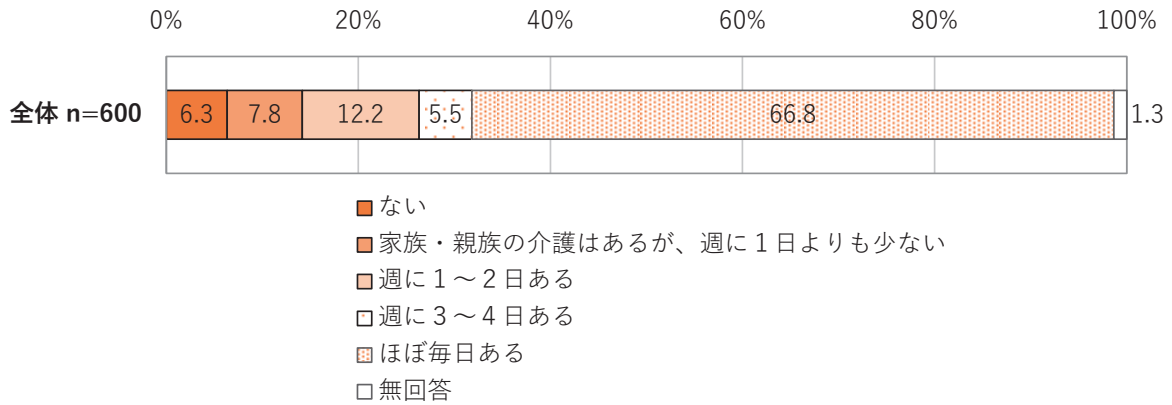
3年前の同様の調査結果と比べると、『関係をもちたい』の割合は、「所沢地区」、「松井東地区」、「松井西地区」、「柳瀬地区」、「新所沢地区」、「三ヶ島第1地区」、「小手指第2地区」、「吾妻地区」、「並木地区」において上昇傾向にあります。



4. 在宅介護実態調査の結果抜粋

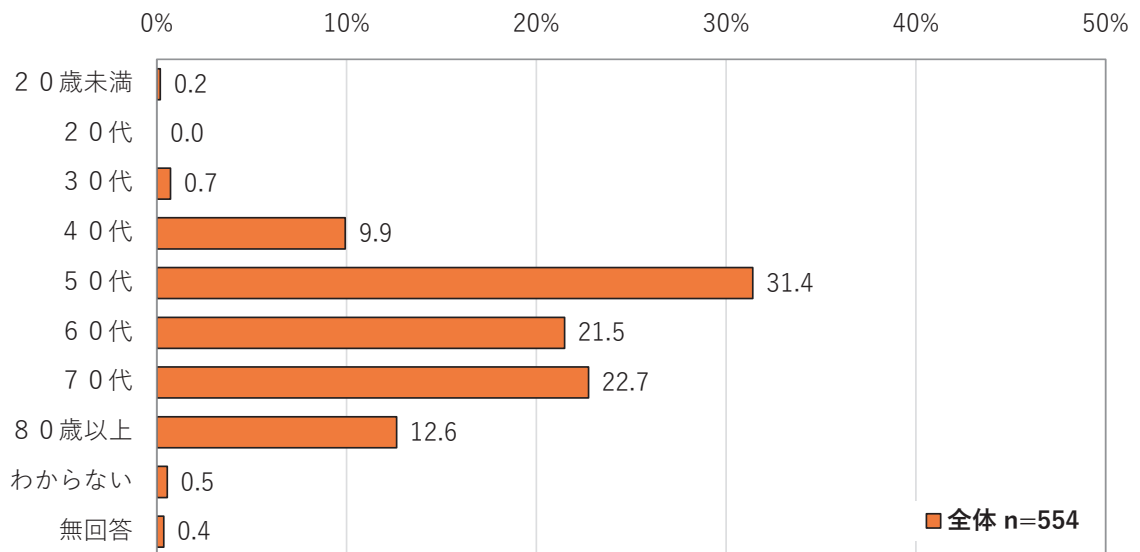
(1) 家族等による介護の頻度

家族等による介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が66.8%で最も高く、次いで「週に1～2日ある」が12.2%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が7.8%でした。在宅での介護が始まると、約7割の方がほぼ毎日介護をしている状況となっていました。



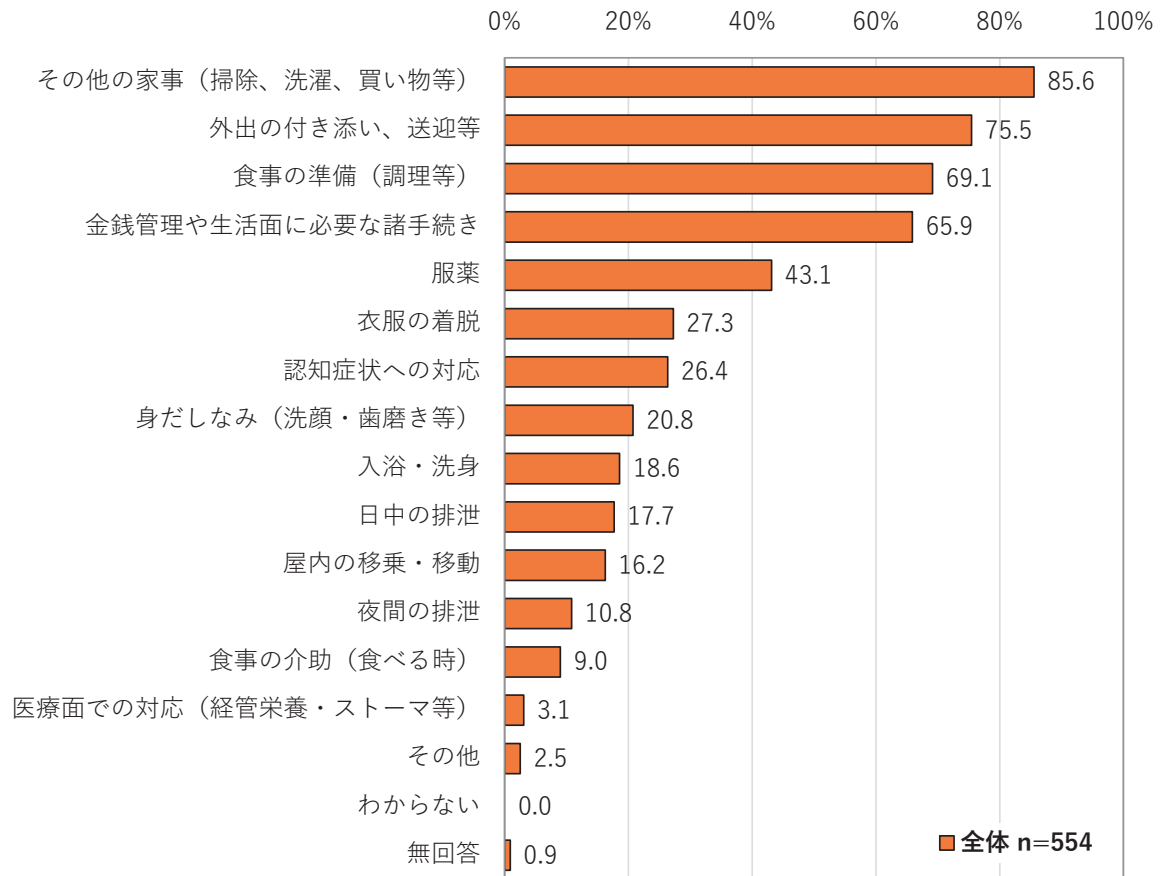
(2) 主な介護者の年齢

主な介護者の年齢については、「50代」が31.4%で最も高く、次いで「70代」が22.7%、「60代」が21.5%でした。60代以上の割合は約6割と、今後の高齢化に伴い、老老介護の状況も増加していくことが予測されます。



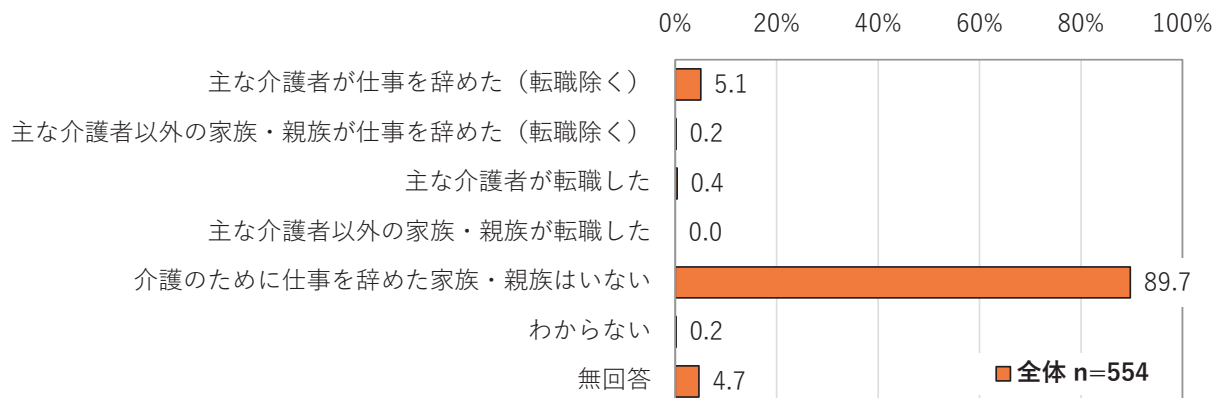
(3) 主な介護者が行っている介護

主な介護者が行っている介護については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が85.6%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が75.5%、「食事の準備（調理等）」が69.1%でした。日常生活を送るための生活支援が主な介護となっている状況がうかがえます。



(4) 主な介護者の離職の有無

介護のための離職の有無については、主な介護者が仕事を辞めた、また転職したと回答した方の割合は低かったです。しかし、本調査結果から一定数の方が離職、転職せざるを得ない状況にあることが分かります。



第4節 所沢市の特徴と課題

地域包括ケア「見える化」システムや、高齢者福祉・介護実態調査の統計データ等から、本市では下記の特徴と課題が挙げられます。

1. 第8期計画以降、後期高齢者数が前期高齢者数を上回り推移する

本市の第1号被保険者は、令和元年度には前期高齢者（65歳～74歳）の割合が49.9%、後期高齢者（75歳以上）が50.1%と、後期高齢者の割合が前期高齢者の割合を上回り、第8期計画以降の推計値においても、後期高齢者の割合が前期高齢者の割合を上回り推移することが予測されます。令和22（2040）年度には前期高齢者の割合が46.9%、後期高齢者の割合が53.1%になることが予測されます。

今後、後期高齢者の増加に伴い、介護保険サービスの利用も増加することが予測されることから、介護保険事業の安定的な運営を確保するため、令和7年度の中期的な視点、令和22年度の長期的な視点を踏まえながら、適切な介護保険サービスの提供体制の確保に努めることが求められています。

2. 介護を必要とする高齢者の増加及び介護人材の不足

後期高齢者の増加に伴い、介護を必要とする高齢者が急増することが見込まれます。

また、高齢者人口が増加する反面、生産年齢人口の減少が予測されており、介護を必要とする高齢者が増える一方、介護人材の不足が課題となります。

「地域包括ケアシステム」を支える介護人材の確保に向けた取組は、第7期計画に引き続き重要であります。加えて、少子高齢化が進展し、介護分野の人的制約が強まる中、ケアの質を確保しながら必要なサービスを提供するためには、業務の効率化及び質の向上に取り組むことも重要であります。そのため、これらを一体的に取り組んでいくことが求められています。

3. 高齢者の社会参加の促進

高齢者福祉・介護実態調査では、高齢者一般の約6割の方が地域活動の場への参加に対して、前向きな回答をしているものの、地域活動の場に新規の参加者が増えない状況もあることから、各種活動に対して関心を持っている方を、いかに活動の場へと結びつけていくかが課題となっています。

また、介護の現場では、介護人材の確保の課題があるなか、高齢者一般の約2割の方が介護の現場で働いてみたいという回答をしています。高齢者分野のみならず、あらゆる分野において人材確保が課題となっていることから、社会参加に対して積極的な高齢者を、いかに就労の場へと結びつけていくかも課題となっています。

4. 高齢者独居世帯、高齢者夫婦世帯の増加

国勢調査によると本市は、平成17年から平成27年の10年間で高齢者独居世帯が1.7倍、高齢者夫婦世帯が1.8倍と急増しており、高齢者福祉・介護実態調査の家族構成の結果では、「1人暮らし」が高齢者一般で約2割、要支援高齢者で約4割、要介護高齢者で約1割となっています。

今後、高齢者の増加に伴い、高齢者独居世帯及び高齢者夫婦世帯も増加することが予測されることから、地域における高齢者の見守りや、日常生活を支援するサービス等の体制整備が求められています。

5. 希望する暮らしの実現

高齢者福祉・介護実態調査では、自身の介護が必要となった場合や、終末期の暮らしにおいて、自宅での生活を希望する方が多くなっています。また、終末期に対して不安を感じていない割合は約1割と、多くの方が終末期に対して不安を感じていることが分かります。

国では在宅療養を推進しているものの、依然として、自宅で最期を迎えられる高齢者は少なく、病院、高齢者福祉施設等で最期を迎える高齢者が多くなっています。

自宅での生活を続けるためには、本人の自立支援や重度化防止に向けた取組が重要となるとともに、自宅での生活を支える介護保険サービスを活用した生活支援が重要となります。

本人の状態や家族構成などの本人を取り巻く状況に応じた支援を提供するため、介護保険サービスを含めた各種サービスの充実、在宅医療と介護に関わる多職種の円滑な連携等が求められています。また、本人及び家族が希望する暮らしを選択できるよう、相談支援や情報提供の充実を図り、様々な不安感を解消する取組が必要であると考えられます。

6. 在宅サービスの受給率が他市と比較して高い

本市は、介護保険サービスのうち、在宅サービス(デイサービスやホームヘルプなど)の1人あたりの給付月額割合が55.9%と、全国(52.6%)、埼玉県(49.3%)、近隣保険者や同規模保険者と比較して高いことが分かります。これは、本市の軽度認定者の割合が高く、介護保険サービスを利用しながら自宅で生活している方が多くなっているためと考えられます。しかし、令和元年度以降、後期高齢者が前期高齢者の割合を上回り推移していくことが予測されることから、施設及び居住系サービスの提供体制の確保については、需要が見込まれる時期を見据えて、適切に整備していく必要があると考えられます。

7. 調整済み認定率、調整済み軽度認定率が減少

本市の調整済み認定率は 16.8%、調整済み軽度認定率は 11.2%となっています。第7期計画策定時の調整済み認定率は 17.8%、調整済み軽度認定率は 12.3%と、第7期計画策定時と比較して、調整済み認定率が 1.0 ポイント、調整済み軽度認定率が 1.1 ポイント減少しており、第7期計画期間中における介護予防に資する取組の効果が、一定の影響を与えているのではないかと考えられます。

一方で、調整済み重度認定率は、全国、埼玉県と比較して低い状況にあります。本市においても後期高齢者の増加が予測されていることから、中長期の視点を踏まえつつ、引き続き分析等が必要であると考えています。

8. 日常生活圏域ごとに地勢、家族構成等に特徴がある

本市は、日常生活圏域（高齢者の日常的な生活範囲。P43 参照）が 14 に分かれており、農地が多い富岡地区や三ヶ島第1地区、起伏が激しい山口地区、住宅が密集した所沢地区や新所沢地区等、日常生活圏域により地勢は様々です。また、高齢者福祉・介護実態調査では、家族構成や外出状況、地域との関わり合い等にも特徴が出ており、日常生活圏域ごとに高齢者の生活環境等の違いが見られます。

今後、高齢者福祉施策を展開していく上で、地域の特徴を踏まえた施策展開が必要であることがうかがえます。

9. 認知症高齢者の増加

「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域作りに向けて～（新オレンジプラン）」によれば、令和7年には認知症高齢者が 700 万人を超え、65 歳以上の 5 人に 1 人が認知症となることが予測されています。

高齢者福祉・介護実態調査では、認知症のある人の割合は、要介護度が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、要介護高齢者では約 4 割が本人又は家族に認知症の症状があると回答しています。また、今後の生活での心配ごとでも、自分が認知症になることと回答している方が多くなっています。

今後、認知症は誰にでも起こり得る症状であることから、認知症に対する正しい理解を促進し、認知症予防や認知症の早期診断、早期対応、認知症高齢者を介護する家族への支援など、認知症施策を総合的に推進するとともに、たとえ認知症になったとしても地域の中で安心して暮らし続けられる地域づくりが求められています。